

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日:2019年5月31日

所属学部／研究科・学科／専攻	商学部商学科アプライドエコノミクスコース
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ネブラスカ大学オマハ校 現地言語: University of Nebraska Omaha
留学期間	2018年8月～2019年5月
留学した時の学年	4年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年5月26日
明治大学卒業予定年	2019年9月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月～12月 2学期:1月～4月 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約15526人
創立年	1908年

留学費用項目	現地通貨 (U.S. \$,1\$=120¥)	円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	7500	900,000円	秋学期はホームステイ
食費	500	60,000円	秋学期はホームステイだったので家賃に食費が含まれていました
図書費	600	72,000円	
学用品費	200	24,000円	教科書はびっくりするほど高いです。中古やレンタルすることをお勧めします。
教養娯楽費	100	12,000円	
被服費	200	24,000円	冬服を現地で買いました
医療費	0	0円	
保険費	1000	120,000円	形態:現地で加入の必要あり
渡航旅費	1500	180,000円	
雑費	100	12,000円	
その他	833	100,000円	
その他		円	
その他		円	
<b>合計</b>	12833	1,504,000円	

## 渡航関連

渡航経路: 成田→ニューデリー→シカゴ→オマハ  
: オマハ→シアトル→サンフランシスコ→香港→成田

渡航費用

チケットの種類	片道
往路	10万
復路	8万
合計	18万

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

Kiwi.com

## 滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

大学寮、後期からホームステイに引っ越しをしました。

2) 部屋の形態

個室 OR  相部屋(同居人数 )

3) 住居を探した方法:

入居情報は基本的に大学から送られてきます。寮以外は自分で探す必要があると思います。

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

寮は 4 人で住みますが、個人の部屋もあるのでプライベートはしっかりと確保できる。住みやすさについてはルームメイトなどの組み合わせにもよると思います。

## 現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった  
 利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

インターナショナルオフィスがあるので疑問は基本的にそこで解決していました。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

特に犯罪に巻き込まれたことはありませんが、外務省から事件やテロの情報が送られてくるので目を通しておくことをお勧めします。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

Wifi が大学内に通っていて基本的にインターネットには困らなかった。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地口座を開設して国際送金をしてもらって現金で使っていました。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

自分に合った常備薬

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

大学のHP(Oh-meiji のようなもの)から支払います。クレジットカード、口座引き落としなどは選べます。

## 卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
株式会社フジクラ
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
留学中でも就職活動はできます。日本の就活にそなえて情報収取でもいいですし、私が参加したボストンキャリアフォーラムでは内定を得るチャンスさえもあります。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
21 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Black Study	ブラックスタディ入門
科目設置学部・研究科	Black Study
履修期間	Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Karen Johns
授業内容	黒人の奴隷の起源、中世、近世に至るまでの歴史
試験・課題など	定期的に口頭のプレゼンテーションが課された。プレゼンのお題などに関しては自由度が高くグループで話し合って決定した。試験はレポート課題であった。
感想を自由記入	黒人奴隷や、差別の歴史を学ぶことは、私にとっては新鮮でした。日本には意識できないような、違った人種マイノリティに対する差別などを学ぶことで、日本の外に出たときに、自分はマイノリティになるのであって少なからずそういった目を持たれたりすることに対する理解を得られたのではないかと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Public Speaking Funds	パブリックスピーキング基礎
科目設置学部・研究科	Communication
履修期間	Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Noelle Anderson
授業内容	効果的プレゼンテーションの仕方、話術、テクニックなど
試験・課題など	試験はマークシート形式であった。問題数が多く留学生の私にはもう少し時間が欲しいと感じるくらいだった。
感想を自由記入	プレゼンテーションの技術などをテキストベースで学んだあと、その技術や作法をふんだんに取り入れながらプレゼンテーションの練習をしました。クラスメートで評価しあいながら、後に自分のプレゼンテーションの録画などをみて復習もしました。日本ではなかなか取れないような授業であると思います、楽しんで取り組んだ授業の一つであると思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
ESL1	第二言語としての英語
科目設置学部・研究科	English
履修期間	Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	James Vnuk
授業内容	英語でのレポートの書き方
試験・課題など	試験時間内に与えられたテーマについてのレポートを書き上げる。
感想を自由記入	英語に少し不安があったので取りました。結果的に、英語式のレポートの書き方や、構成の仕方などを学べてほかの授業のレポート作成の際にも役立ったと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Consumer Behavior	消費者行動論
科目設置学部・研究科	Business Administration
履修期間	Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Arvind Agrawal
授業内容	消費者の行動理論を様々な視点から学ぶ。
試験・課題など	試験は記述式でした。留学生は記述式が最もきついと思うので、辞書の持ち込みなどを交渉しましょう。私はいつも試験時間いっぱいまで回答を書いていました。
感想を自由記入	この授業はとても興味深かったです。消費者行動を研究するためにはマーケティングの授業であっても様々な学問の分野の知見も取り入れています。人々の行動は心理学をベースに、その他、マーケティング環境要因を人口統計、性別、価値観、言語文化圏、など様々なファクターを考慮しながらのマーケティング方法を学ぶことができました。授業はグループリサーチが頻繁に行われ、一つのテレビコマーシャルに対して、どのようなマーケティング手法が使われているかをレポート、プレゼンテーションにしました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
U.S Economics		アメリカ経済学	
科目設置学部・研究科	Economics		
履修期間	Spring		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	オンライン講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Jamie Wagner		
授業内容	ミクロ経済学、マクロ経済学を全体的に学びます。		
試験・課題など	オンライン上で講義を受け、練習問題もオンライン上で問題を解いていました。試験は選択問題でした。		
感想を自由記入	私はあまり、アメリカの経済事情を学べた感じはしませんでした。講義自体は経済学の一般的な理論で、アメリカの経済自体を深く講義したことはありませんでした。強いて言えば、金融、財政政策ぐらいがアメリカについて学べる場所でした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Micro Economics		ミクロ経済学	
科目設置学部・研究科	Economics		
履修期間	Spring		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Ben Smith		
授業内容	ミクロ経済学の理論を学ぶ。		
試験・課題など	大教室の講義でした。授業スタイルは基本的に日本と似てると感じました。試験はマークシート式であった。		
感想を自由記入	正直に言うとする授業がなく選んでしまった授業です。この授業で学べた点は、アメリカで進んでいる行動経済学の分野に触れられたことです。これも心理学などをフレームにして人間の行動、選択について学ぶものです。これは最も興味深かったと思います。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Guitar		ギター	
科目設置学部・研究科	Music		
履修期間	Spring		
単位数	1		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	レッスン形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に30分が1回		
担当教授	Hadley Heavin		
授業内容	一対一のレッスン形式		
試験・課題など	課題曲を毎週出され、次週に演奏し、フィードバックをもらう。		
感想を自由記入	この授業は非常に楽しみながら取り組みました。こういった実技系の授業も多く設置してあるのはアメリカの大学の特色の一つかなと思います。期末試験では、大学のコンサートホールに上がっての演奏で、少し緊張しましたがとてもいい経験になったと思います。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Elementary Chinese	初級中国語
科目設置学部・研究科	Chinese
履修期間	Spring
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が2回
担当教授	Sherry Ma
授業内容	中国語を学ぶ。
試験・課題など	小テストはその単元が終わるごとに、試験は合計で6回あったのでちょっと多いのかなと思いました。
感想を自由記入	個人的に中国語は明治大学でも積極的に取り組んでいて、選択の中国語もとっていました。英語を学びながら中国語も学べると思い、取りました。日本よりは文法、リーディングは簡単なことしかやらないと思いましたが、口頭での質問に答えるなど、喋る練習は多かったなと感じました。

### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2017年 1月～3月	留学の情報集め
4月～7月	留学に必要な IELTS の勉強
8月～9月	IELTS の勉強
10月～12月	IELTSの受験、交換留学の出願、選考、面接等。
2018年 1月～3月	留学に向けて英語の勉強、留学先大学の手続き
4月～7月	留学先大学の手続き、ビザ取得
8月～9月	留学開始
10月～12月	留学中、10月 Mid Term, 11 月ボスキャリに参加、12 月 Final
2019年 1月～3月	留学中 Spring Semester, 3 月 Mid Term
4月～7月	4 月末 Final、5 月に留学終了、帰国→帰国後の報告作業
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようとした理由	私が留学しようとした理由はとても単純です。ただ将来海外でも仕事ができるようなそんなグローバル人材になりたいと思ったからです。そのためには、若いうちから英語を使いながら目標を達成することが必要だと思ったからです。その一つの手段が留学でした。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	英語の勉強です。これはみな口をそろえて言うことだとは思いますが本当に重要です。特に私はもっとスピーキングを練習していけばよかったなと痛感しています。今は日本でも十分に練習できる教材、環境があるはず。とっさに口から言いたいことが言えるようにまで練習してから留学に挑むのがベストかなと思います。厳しいことかもしれませんが、英語をうまくしゃべれないとそれだけの様々なディスアドバンテージや冷遇される場面も多いことは覚悟しておいた方がいいです。
この留学先を選んだ理由	田舎であり、英語が上達すると思ったからです。実際大学のなかで日本人留学生の割合が一番多いんじゃないかと思うくらい多かった印象です。しかし、日本人の友人も留学するうえでかなりの心の支えにもなりますので、留学生同士コミュニケーションをとることをお勧めします。
大学・学生の雰囲気	大学は、学生も地域の人でも皆比較的穏やかなんじゃないかなと思いました。大学もオマハの町ものんびりとした感じで、休日などは外に出てみると和むと思います。しかし、極度に田舎すぎることもなく近くにはターゲット、ウォルマートなどのスーパー、外食が出来る場所がありますので生活に困るということはありませんでした。
寮の雰囲気	寮はルームメイトの組み合わせによるので一概には言えませんが、住みよいところだと思います。私の寮はトラブルこそなかったですが、ルームメイト部屋に帰ってこず交流が全くない部屋で静かでした。しかし、定期的に寮のクラブハウスというところでイベントがあるので、交流が全くないというわけではないので安心してください。もし何かトラブルがあれば部屋チェンジなども可能なので活用しましょう。
交友関係	友達の数こそ少なかったですが、親密な外国人の友人はできました。授業などで自然と仲良くなるが多かったです。グループワークからだんだんと一緒に外食やバーに行くようになり、近くのショッピングモールに一緒に行ったり、家でhang outしたりするようになりました。自分とフィーリングの合う友人を探すことをお勧めします。
困ったこと、大変だったこと	授業は大変だと思います。毎回のリーディングの量、レポート、グループリサーチなどの頻度はかなり多いです。私はグループリサーチやプレゼンテーションが一番大変だと思いました。なぜなら、英語で自分の考えをどんどん伝えていかなければならないからです。よく自分の言いたいことが違って伝わったり、本当に言いたいことが言えなかったりした経験があります。自分の意見をはっきりとっていくことがアメリカの大学では必要だと思います。意見をしっかり伝えるためにも英語の勉強は留学が決まっただけからでもやっておいた方がいいです。
学習内容・勉強について	アメリカでは授業中であっても、質問や意見のディスカッションが多いです。それだけ学問に対して疑問を持ちながら取り組んでいるのかと感ずるところはありました。また、授業のスピードは全体的に早いものが多いです。だからこそリーディングアサインメントの量などが多いのだと思います。留学中に積極的な学生を身近に見てきてすごく感化されたと思います。
課題・試験について	課題の量は多いです。特に教科書はモノによってはありえないくらい分厚さをしてしています。正直書いてあるポイントを押さえてスキミングしながら読むくらいで十分だと思います。試験もスタディガイドなどが配られる場合が多いし、試験前に詳しく説明してくれる先生が多かったので、皆さんが留学しても勉強面では問題はないかと思います。ただ、英語に苦戦するかもしれません。

大学外の活動について	私は秋学期からは寮からホームステイのお宅に引っ越しました。そこでは、アメリカ人の暮らしをたくさん経験することが出来ました。休日には教会に行ったり、雪の厳しい時は雪かき、夏は芝刈りのお手伝いなど、アメリカの一般的な家庭生活になじむことが出来たと思います。
留学を志す人へ	留学するにあたって、やりたいこととそれへの熱量が一番大事だと思います。時間、お金、就活等々、障壁はたくさんあると思いますが、それらを留学をあきらめてしまうという理由にしてしまうことはもったいないと思います。私は4年からの留学ということもあり、就活、時期の悩みやお金の悩みなどいろいろ抱えてきましたが結果留学してよかったと思っています。後悔はありません。次はあなたの番です。何かこのような悩み、相談があればサポートしていきたいと思っているので連絡してください。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	起床	起床	起床	起床	起床	起床	起床
	授業	授業	授業	授業	授業	ランチ	ランチ
午後	課題	授業	課題・予習	授業	昼寝	友人と遊ぶ	買い出し
	授業	課題	授業	課題	リラックス	友人と遊ぶ	洗濯
夕刻	料理	料理	料理	料理	料理	友人と遊ぶ	リラックス
夜	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝